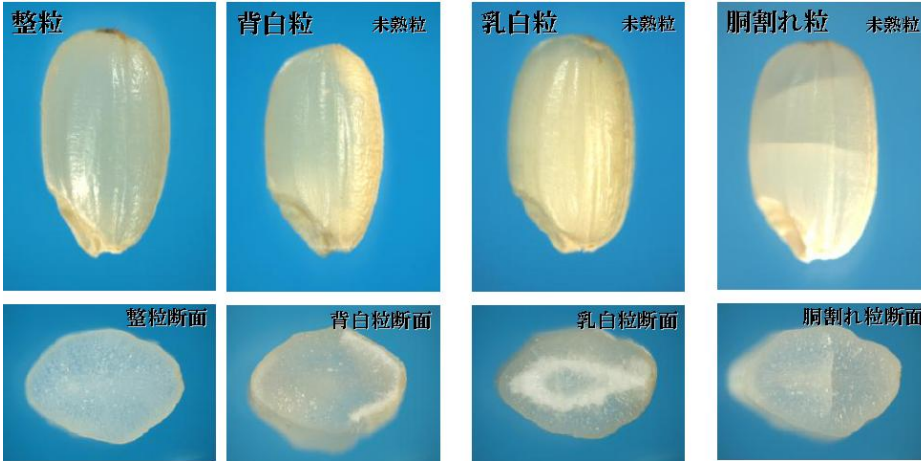
平成27年8月6日　作成

早期地区 籾乾燥情報

2015年 No.1

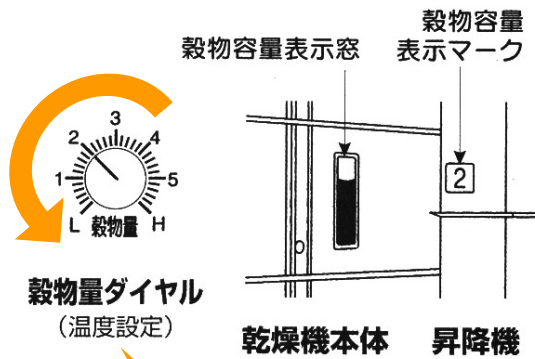
猛暑日が続き、圃場では「高温登熟障害」がみられます。

（水分差も大きい）

刈り遅れ

（低水分･胴割れ･開頴籾）

など、稲･籾に生理障害が起きています。

対処方法

①乾燥温度を下げて、ゆっくり乾燥してください。

弊社乾燥機では、穀物ダイヤルを「2」→「1」に下げると約5℃乾燥温度が下がり、ゆっくり乾燥します

乾燥速度設定画面

※詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

弊社最新「ウインディネックス」乾燥機の場合は、乾燥速度の設定を「ふつう」→「ゆっくり」に変更していただくと、ゆっくり乾燥します

②乾燥後の送風冷却は、絶対に行わないでください。

玄米の胴割れによる等級低下の恐れがあります。

急激な冷却を行わず、自然に放冷してください

ゆっくり、やさしく、丁寧に